

## 社会 第6学年 3 貴族が生み出した新しい文化 検討会の想定問答

**指摘 1：**本時で何を見取るのか。

**返し：**「平安時代には、大陸の文化を取り入れながらどんな文化が生まれたのだろうか」について、比較した資料や記録から根拠を選び、事実と自分の考えを区別して説明している。結論の暗唱ではなく、根拠の箇所を指し示せるかを見取る。本時は単元で集めた記録を整理する時間として置く。

**指摘 2：**活動だけで終わらないか。

**返し：**建物やかな文字、文学などの資料を読み、大陸から取り入れたものと日本で工夫されたものを整理する。貴族の暮らしと文化の担い手を結び、庶民全員の生活とは区別する。活動後に中心の問いへ戻り、事実と説明を線でつなぐ。(2)で求める理解と表現をそこで確かめる。

**指摘 3：**予想と違う結果が出た場合はどうするか。

**返し：**華やかな文化を当時の全員の生活とする場合、資料の人物や場所を確認する。作品の内容をそのまま歴史的事実としない。予想に合わせて結果を書き換えず、条件や資料の読み方を再確認する。(2)に関わる考えを見直す学習として扱う。

**指摘 4：**説明や記述が難しい子にはどうするか。

**返し：**比較する記録を並べ、対象・条件・時期を指差して話せるようにする。日本風の文化の特色を説明する活動では、教師が比較の視点を示してから児童の言葉で説明を聞く。代筆や図の使用は認めるが、考えそのものを教師が決めない。

**指摘 5：**安全や個人への配慮は何か。

**返し：**文化財の利用条件を守り、教材本文を転載しない。実施前の点検ができない活動は共通の記録資料に替え、(2)の問いを考える機会を確保する。

**指摘 6：**資料やICTはどのように使うか。

**返し：**建物やかな文字、文学などの資料を読み、大陸から取り入れたものと日本で工夫されたものを整理する。貴族の暮らしと文化の担い手を結び、庶民全員の生活とは区別する。画面は拡大や並列表示に使い、端末がなくても印刷した同じ記録で比較できるようにする。ICTの操作の速さは評価しない。

**指摘 7：**時数の根拠と削る場合の考え方は。

**返し：**全3時間は日本文教出版の年間指導計画による。各次の配分は本案の提案である。削る場合も「平安時代には、大陸の文化を取り入れながらどんな文化が生まれたのだろうか」を追究する記録と説明の時間を残し、同じ資料を読む重複や清書の方法を見直す。安全確認や実物を確かめる過程は省かない。

**指摘 8：**振り返りと次の指導をどうつなぐか。

**返し：**「平安時代には、大陸の文化を取り入れながらどんな文化が生まれたのだろうか」について最初の考え、根拠にした記録、まだ残る疑問を読み比べる。日本風の文化の特色を説明する活動で根拠が不足した児童には、その記録を次時の導入に戻して確認する。態度は感想の長さではなく、調べ方や説明を見直す行動を継続して見る。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

